

決算特別委員会から市に対する提言

決算特別委員会として、令和4年度決算の結果を踏まえ、令和6年度の予算編成に生かすために以下の提言をまとめました。

1 歳入の確保・事業精査

- ・光熱水費をはじめとする物価の高騰が本市の経費を圧迫している現状を踏まえ、物価変動の影響に耐えうる税外収入の強化に努め、国や県の動向などを注視し、あらゆる歳入拡大策の検討と必要事業の精査に努めること。

2 スポーツ施設の環境整備

- ・「スポーツ健康都市宣言」の名にふさわしい市内スポーツ施設の環境整備を更に推し進め、トイレの改修や管理棟、更衣室などの整備等を行うこと。

3 利便性の高い公共交通の実現

- ・高齢者や交通弱者をはじめ市民への利便性の高い公共交通の実現を目指し、デマンド交通などの先進事例の調査・研究を具体的に進めること。

4 災害対策の強化

- ・近年風水害が深刻化している中で、河川の^{いっすい}溢水による家屋への浸水などを軽減させるため、雨水貯留施設の整備などの対策を講じること。
- ・災害避難の対策を充実させるための施策を講じること。

5 消防・救急体制の強化

- ・大規模災害や新たな感染症発生に対する備えなどを考慮し、救急車両の増車や消防職員の増員など、消防・救急体制の更なる拡充を検討すること。

6 地球温暖化対策の推進

- ・市内の緑地保全及び緑化の推進を図ること。
- ・市民、事業者、環境保護団体等に対し本市の姿勢を示すとともに、協働するゼロカーボンシティ推進委員や推進協議会などを設置し、地球温暖化対策の取組を推進すること。

7 教育環境・子育て施策の充実

- ・いじめ、不登校、ヤングケアラー・若者ケアラー対策として、多様な相談体制の充実や居場所づくりなど、予防対策の強化を図ること。
- ・放課後子ども教室や無料学習支援の充実、アッピースマイルサポーターやスクールソーシャルワーカーの増員等を図ること。
- ・待機児童・保留児童ゼロを目指し、子育て世代が安心して暮らせる支援の充実を進めること。
- ・「上尾市奨学金貸付制度」を「給付型」や「国の奨学金の利息補助」などの市民ニーズに応えられる制度内容に転換し、若者の進学及び就学を支援すること。